

- 1951 | 7 東京都板橋区小豆沢において、わが国初のミニチュア・ボールベアリング専門メーカー「日本ミニチュアベアリング株式会社」を設立。
- 1956 | 10 本社を東京都中央区日本橋兜町に、工場を埼玉県川口市青木町に移転。
- 1959 | 6 埼玉県川口市青木町に新工場を建設し、本社工場を同所に移転。
- 1962 | 11 米国市場開発のため、駐在員を派遣。
- 1963 | 3 軽井沢工場を建設し、一部工程を移転。
- 1965 | 7 川口工場を閉鎖し、全施設を軽井沢工場に移転。本社所在地を埼玉県川口市より長野県北佐久郡御代田町に移転。
- 1967 | 3 欧州市場開発のため、英国ロンドンに駐在員を派遣。
- 1968 | 9 米国ロスアンゼルス現地法人 Nippon Miniature Bearing Corporation( 現NMB Technologies Corporation )を設立。
- 1971 | 4 英国に販売会社 NMB ( U.K. ) Ltd. を設立。  
| 5 大阪、名古屋両証券取引所市場第一部に上場。  
| 9 SKF社リード工場( 米国、現New Hampshire Ball Bearings, Inc. チャッツワース工場 )を買収し、米国において生産活動を開始。
- 1972 | 2 シンガポールに製造会社 NMB Singapore Ltd. を設立( 1973年から生産活動開始 )。
- 1974 | 9 東証第二部上場のひずみ測定器大手メーカー 新興通信工業( 株 ) 現 ミネベア( 株 ) 計測機器事業部 )を買収。
- 1975 | 1 米国の電子機器メーカー IMC Magnetics Corp. ( アメリカン証券取引所上場 )を買収。
- | 7 東証第二部上場のネジの総合トップメーカー ( 株 ) 東京螺子製作所( 現 ミネベア( 株 ) 藤沢製作所 )、防衛関連機器メーカー 新中央工業( 株 ) 現 ミネベア( 株 ) 大森製作所 )を買収。
- 1977 | 9 米国の多国籍企業マロリー社のモーター部門である Hansen Manufacturing Co., Inc.( 現Hansen Corporation )を買収。  
| 10 旧西独に販売会社 Nippon Miniature Bearing GmbH( 現 NMB-Minebea-GmbH )を設立。
- 1980 | 3 光洋精工( 株 )のシンガポール工場を買収し、Pelmeq Industries( Pte. ) Ltd. を設立、小径ボールベアリングの生産を開始。  
| 8 タイに製造会社 NMB Thai Ltd. を設立( 1982年から生産活動開始 )。
- 1981 | 1 当社の販売部門を分離独立させ、( 株 ) エヌ・エム・ビーを設立。同社に当社グループメーカーの販売部門を合併。  
| 10 ( 株 ) 東京螺子製作所、新興通信工業( 株 )、新中央工業( 株 ) 及び大阪車輪製造( 株 )の系列メーカー4社を吸収合併し、社名を「ミネベア株式会社」と変更。
- 1982 | 9 イタリアに販売会社 NMB Italia S.r.L. を設立。
- 1983 | 3 冷却用ファンモーターメーカー( 株 ) コンドー( 現 エヌ・エム・ビー電子精工( 株 ) )を買収。
- 1984 | 8 タイに製造会社 Minebea Thai Ltd. 及び Pelmeq Thai Ltd. を設立。
- 1985 | 3 米国のベアリングメーカー( アメリカン証券取引所上場 ) New Hampshire Ball Bearings, Inc. を買収。  
| 9 米国の電源装置のメーカー Harris Corporation Miami Lakes Operation を買収。

### 東京の町工場からスタート！

ミネベアは1951年に東京都板橋区で、日本最初のミニチュア・ボールベアリング専門メーカーとして創業しました。当時は従業員10数名の小さな町工場でした。

その後、1956年に埼玉工場へ移転し、生産能力の本格増強を目指して1963年に現在の本社工場である軽井沢工場を新設しました。1965年には全生産施設を軽井沢工場に移転しました。以後、ベアリングの需要増や製品の多角化による事業規模の拡大が進みましたが、当時は現在のように機械の自動化が進んでおらず人手を要していました。1960年代後半は、日本の製造業が急拡大していた時期だったことやミネベアの知名度が低かったことなどの理由により、日本国内での従業員の増強が難しく、拡大の場所をアジアに求めることになりました。

### 米国で最初の海外生産並びにM&Aを実施！

1960年代後半当時、軽井沢工場で生産していたボールベアリングの約70%は米国の航空機市場向けに輸出されており、米国市場の約40%を占めるに至りました。その結果、米国のベアリングメーカーの保護を目的として国防関連製品は米国製に限定されるという法律が制定され、その対策として1971年に世界最大のベアリングメーカーであるSKF社の現地工場を買収し、現地生産を開始しました。

### シンガポールで海外での量産活動を開始！

数カ国の候補地( 国 )を調査した結果、( 当時は )人手が豊富だったこと、英語圏であること、政府が日本を含めた製造企業に対して積極的な誘致活動を行っていたことなどの理由により、シンガポールへの進出を決めました。1972年に現地法人を設立し、1973年に現地での生産活動を開始しました。

1970年代後半当時、主力製品の量産活動はシンガポールが中心となりましたが、日系企業を含めた外資系企業のシンガポールへの進出の急増、当時数多く働いていたシンガポール以外の外国人労働者比率の規制などにより、再び従業員の増強が難しくなり、シンガポール以外の海外にさらなる生産規模拡大の場所を求めました。

- 1986 | 5 静岡県磐田郡浅羽町に開発技術センター及びミネベアエレクトロニクス(株)を設立。
- 1987 | 5 タイに合弁製造会社 Thai Ferrite Co., Ltd(現 Power Electronics of Minebea Co., Ltd.)を設立。
- 1988 | 2 英国のロッドエンド&スフェリカル・ベアリングメーカー Rose Bearings Ltd(現NMB-Minebea UK Ltd.)を買収。  
| 3 米国に電子機器の販売会社 NMB Technologies, Inc(現NMB Technologies Corporation)を設立。  
タイに合弁製造会社 Minebea Electronics (Thailand)Co., Ltd.を設立。  
| 12 タイに製造会社 NMB Hi-Tech Bearings Ltd.及びNMB Precision Balls Ltd.を設立。
- 1989 | 1 フランスに販売会社 NMB France S.a.r.l.(現NMB Minebea S.a.r.l.)を設立。
- 1990 | 10 ドイツの精密小型モーターメーカーPapst-Motoren GmbH & Co KGとHDD用スピンドルモーターの合弁製造会社PAPST-MINEBEA-DISC-MOTOR GmbH(現 Precision Motors Deutsche Minebea GmbH)を設立。  
| 11 英国のRose Bearings Ltd(現NMB-Minebea UK Ltd.)スキグネス工場において小径ボールベアリングの製造を開始。
- 1992 | 2 英国の電源装置メーカー Sorensen社を買収し、スコットランドにMinebea Electronics( UK )Ltd.を設立。
- 1993 | 8 Papst-Motoren GmbH & Co KGとの合併契約を解消。PAPST-MINEBEA-DISC-MOTOR GmbHの全保有株を取得し、社名をPrecision Motors Deutsche Minebea GmbHに変更。  
| 10 販売及びR&D活動等を目的に、シンガポールに Minebea Trading Pte. Ltd.(現Minebea Technologies Pte. Ltd.)を設立。
- 1994 | 4 中国に製造会社、上海美蓓亚精密机电有限公司(英文名:Minebea Electronics & Hi-Tech Components( Shanghai )Ltd.)を設立。
- 1996 | 8 中国・上海のボールベアリング一貫生産工場(ミネベア最大のベアリング工場)が操業を開始。  
| 10 英国スコットランドにNMB( U.K. )Ltd. インチナン工場を新設。
- 1999 | 3 米国に設立したNMB Corporation Technical Centerで品質評価及び試験活動を開始。  
| 7 米国の現地法人 NMB Corporation と NMB Technologies, Inc. を合併し、NMB Technologies Corporationに商号を変更。
- 2000 | 3 マレーシアのスピーカーボックスメーカー Kuen Dar ( M ) Sdn. Bhd.を買収。
- 2001 | 2 家具輸入販売子会社の(株)アクタスの経営権を(株)ティー・アール・エスに売却。
- 2002 | 8 シンガポールのハンシングループHuan Hsin Holdings Ltd.とシンガポールに設立した合併会社 Sheng Ding ( Pte. ) Ltd. が中国にPC用キーボードの生産子会社Shanghai Shun Ding Technologies Ltd.を設立。  
中国に販売会社ミネベア貿易(香港)有限公司 Minebea( Hong Kong )Ltd. を設立。
- 9 中国に販売会社ミネベア貿易(シンセン)有限公司 Minebea( Shenzhen )Ltd.、ミネベア貿易(上海)有限公司 Minebea Trading( Shanghai )Ltd. を設立。
- 2004 | 4 松下電器産業(株)モータ社と情報モーター4商品(ファンモーター、ステッピングモーター、振動モーター及びDCブラシ付モーター)事業を統合し、統合会社ミネベア・松下モータ(株)を設立。

### タイでの生産活動を開始。タイ最大の輸出企業へ発展!

当時、人手が豊富だったこと、ミネベアのシンガポール工場で働いていた多くのタイ人従業員の勤務態度が非常に良好であったこと、タイ政府が製造業、特にミネベアのような部品メーカーを熱心に誘致していたこと、国民のほとんどが仏教徒であることや日本と歴史的に友好関係があったことなどから、タイへの進出を決定しました。

日本、シンガポールで人手不足を経験したことから、将来的に従業員の増加や敷地の拡大が難しくなることを想定し、バンコク市周辺や工業団地は避け、農村地帯であるアユタヤ県に工場を建設しました。その後、新設した工場もすべて同じ方針で場所を選定し、拡充を続け、現在は、グループ全体の売上高の約60%を生産するミネベアグループ最大の製造拠点になりました。

#### タイ・オペレーションの概要

売上高	(2004年3月期)	156,745百万円
	(2004年3月末現在)	
総投資額		163,670百万円
総工場敷地面積		1,466,032m <sup>2</sup>
総工場建物面積		372,309m <sup>2</sup>

### 将来の巨大市場、中国へ!

ミネベア全体の生産能力の拡大と、ミネベアの主力製品の需要拡大が見込まれる中国市場の将来性を視野に入れ、1994年に現地法人上海美蓓亚精密机电有限公司を設立し生産を開始しました。1996年に完成した上海工場は、小径ボールベアリングの一貫生産工場としては世界最大の規模であり、世界5ヵ国での生産活動で蓄積されたノウハウと最新鋭の機械設備が導入されています。

また、2002年にはシンガポールにハンシングループと合併会社を設立し、上海市にその子会社上海順鼎科技有限公司 / Shanghai Shun Ding Technologies Ltd.(SST社)を設立し、2003年8月よりPC用キーボードの生産を開始しました。2005年3月末までに、タイでのキーボード生産のすべてをSST社に移管する予定になっています。

現在、中国オペレーションはタイに続く規模の生産拠点となっています。

#### 中国オペレーションの概要

生産高	(2004年3月期)	34,854百万円
	(2004年3月末現在)	
総投資額		50,723百万円
	上海美蓓亚精密机电有限公司	上海順鼎科技有限公司
総工場敷地面積	495,834m <sup>2</sup>	47,425m <sup>2</sup>
総工場建物面積	89,299m <sup>2</sup>	45,300m <sup>2</sup>